

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23.5～26℃台を示し、並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

○中小型まき網――月夜間と台風のため、出漁がなかった。

○イカ釣り――月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり49kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり626kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。

○定置網――北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり2.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり366kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり363kgの水揚げ。

○一本釣り――北松宇久地区では、アカカマスが1日当たり60kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり46kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/29～7/4）6日間の沖合イカ釣り船、船凍船は、赤イカ漁及び日本海（大和堆及び周辺海区～北海道西沖）へ全船出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 入港情報なし。

（漁業情報サービスセンターより）